

第10章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000 m程下った右岸に位置している。標高15～19 mで現谷底との比高差は3 mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

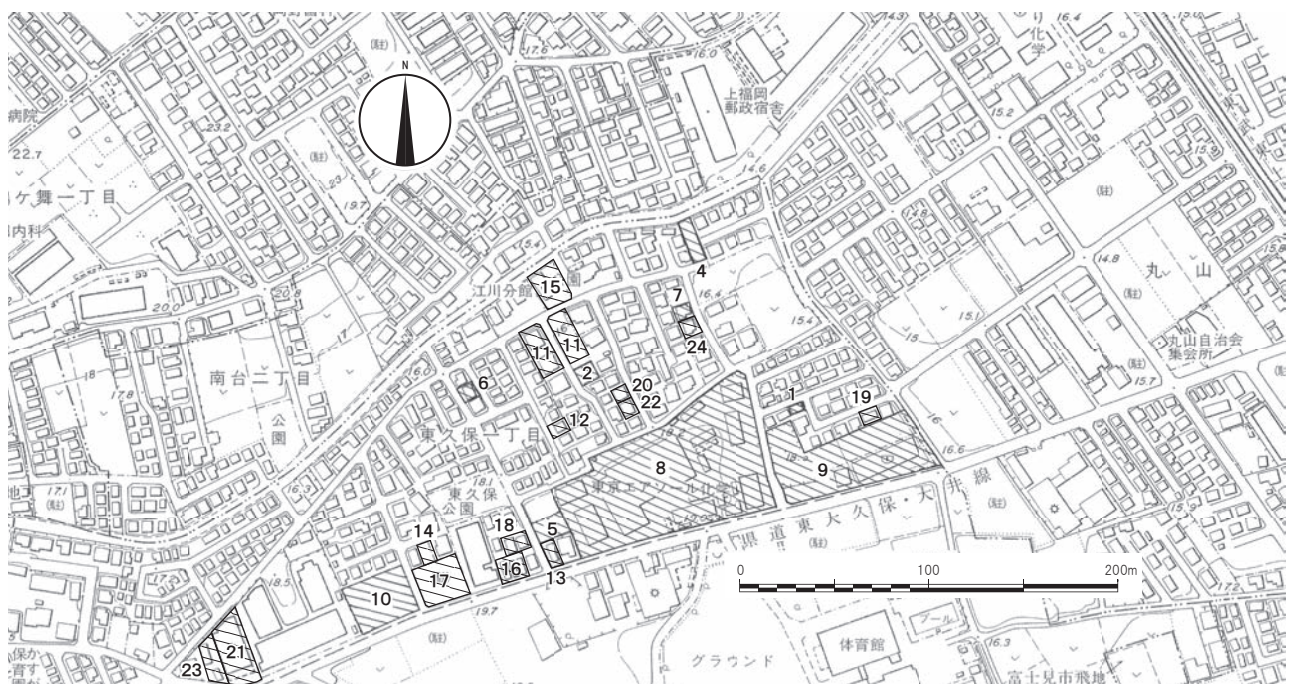
周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。

2017年3月末現在24地点で試掘及び発掘調査を行っている。

第19表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²) ○は開発面積	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24・25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、縄文土器・須恵器	町内遺跡群Ⅲ
2	大字東久保1-162-34	1995.1.20～2.6	191	個人住宅建設	土坑17、ピット18、ブレイク・須恵器	町内遺跡群Ⅳ
4	東久保138-4他	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ピット3、溝2	町内遺跡群Ⅴ
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～9)	164	土地分譲	ピット12	町内遺跡群Ⅶ
6	東久保1-168-7	(2001.7.17)	15(71)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群ⅩⅠ
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群ⅩⅡ
8	東久保1-150他	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝、風倒木痕1	町内遺跡群ⅩⅡ
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10) 2004.5.11～24	464	保育園	ピット40、溝2、縄文土器	町内遺跡群ⅩⅡ、 調査報告第14集
10	東久保1-174-1・36	(2005.10.13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1・14	(2006.11.9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(344)	公民館分館	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14・15) 2009.9.16～18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(74.2)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21・22)	30.5(570.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30・10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告



第31図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 江川東遺跡第 22 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 9 月 26 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 9 月 30 日と 10 月 1 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 30 ～ 50 cm である。遺構遺物なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

III 江川東遺跡第 23 地点

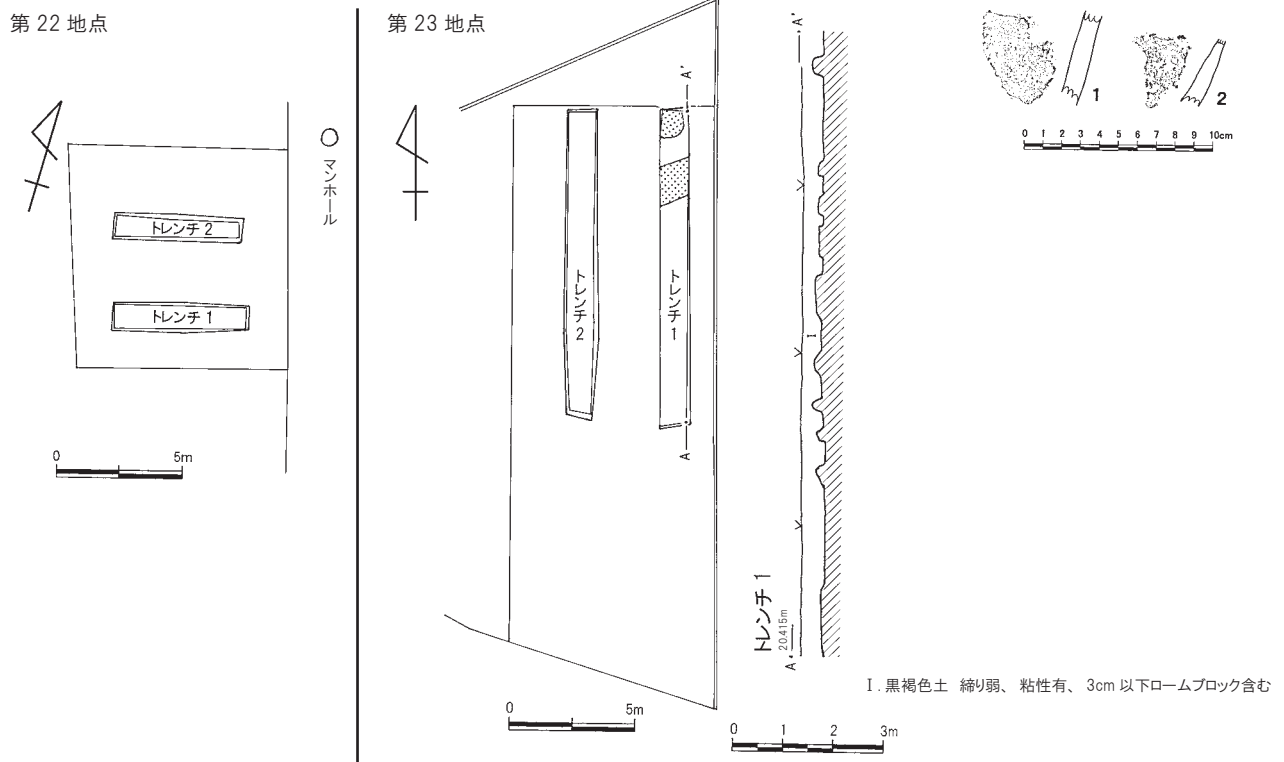
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 10 月 3 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 10 月 10 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.2 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 30 ～ 40 cm である。遺構なし。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 出土遺物 (第 32 図 1・2)

遺物は全てトレンチの表土層から出土したものである。1・2 は無文の縄文土器片である。焼成良好で縄文時代中期とみられる。



第 32 図 江川東遺跡第 22・23 地点調査区域図 (1/300)、第 23 地点土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)



江川東遺跡第 22 地点調査風景



江川東遺跡第 22 地点トレンチ 2



江川東遺跡第 23 地点調査風景



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 1



江川東遺跡第 23 地点トレンチ 2



江川東遺跡第 23 地点出土遺物



東中学校西遺跡第 35 地点調査風景



東中学校西遺跡第 35 地点トレンチ 1